

病客さまと心臓病センター榊原病院をつなぐ

病院NOW

2016年
第73号
7月

2016年7月1日発行
(年4回発行)

少子化による人口減少、社会構造の変化が進む現在、(国際競争とともに)東京への一極集中(若年層の人口流入)と、地方の人口流出と高齢化が加速しています。医療の現場においては、「より良い医療をより安く」提供するよう取り組んでいます。現在、日本は高齢化先進国(平均寿命男性80.5歳、女性86.8歳、65歳以上の人口比率26.7%)であり、国際的にみれば格安の医療費となっています(1994年〜2014年にGDP自体が、米国の2.9倍、ドイツ2.3倍、日本0.98倍となり、諸外国では医療費が増額されています)。残念ながらわが国の財務省は、高齢者の増加に伴う医療費増は認めるが、新しい技術や新薬の医療費増は認めない方針を掲げています。

技術の進歩で低侵襲治療が進めばその分医療材料費は高くなり、効果の高い薬が開発されれば費用は増加します。また、後発

品においても新興国から輸入した方が国内生産よりもコスト安なので、輸入が増えています。こうした結果、外国製品に席巻される状況を生んでいます。大変

わが国政府の行き過ぎた抑制策が国内企業の力を奪い、外国製品に席巻される状況を生んでいます。大変

21世紀の医療

理事長 榊原 敬

残念なことです。

健康な生活を続けるには

療が進めばその分医療材料費は高くなり、効果の高い薬が開発されれば費用は増加します。また、後発

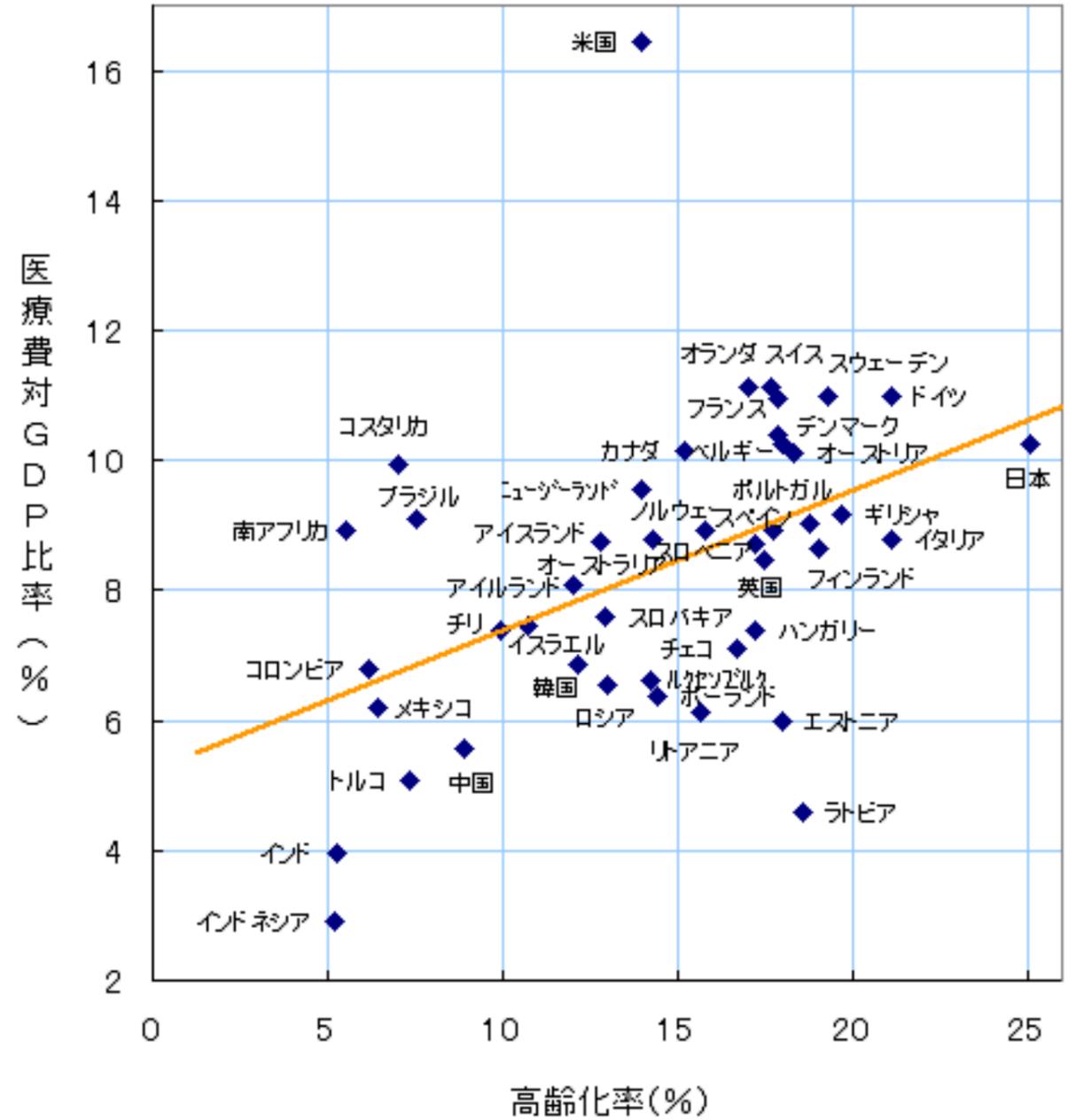
果、国民医療費40兆円の10%・約4兆円が国外に流出しています(化石燃料に次ぐ大きな金額です)。

夏 病院の庭に咲く夕チアオイ

健康な生活を続けるには、もともと自分自身でできる健康法を守り、禁煙や体力づくりをとおして生活習慣病にならない工夫が必要です。高齢者になっても住み慣れた町で、自分らしい生活をおくるために、かかりつけ医や訪問看護など必要な支援を受けながら自立していかねければなりません。私どもの病院は、いざというときの心臓大血管の救急の砦です。加えて、メディカルフィットネス(生活習慣病対策として50歳からの体力に合わせた運動を推進)、心臓リハビリ(早期の社会復帰と心不全予防)や地域包括ケア病棟(在宅支援)に至るまで、病客さまに寄り添う医療サービスを提供してまいります。私どもは地域の方々を力をお供せて、安心安全で住みやすい環境とそれに相応しい医療を育んでいきたいと思

医療費と高齢化(2013年)

OECD諸国及びパートナー10カ国



(注) 医療費の年次は、スペイン、オーストラリア、アイスランド、ルクセンブルクについては2012年。高齢化率はすべて表題年

(資料) OECD Health Data 2015 (June 2014)、世銀WDI 2015.7.12



病院理念 病客さま一人ひとりの権利を尊重し、心のこもった安全で、質の高い医療の提供が私どもの理念です

榊原病院

検索

特別
メニュー

あなたに寄り添う 安全でおいしい食事

入院中の病客さまにとって、お食事が「安全」（食材はすべて国産品を使用）
「癒し」や「楽しみ」の時間になりますように



季節に合わせた
国産食材

外国産食材を一切使用
せず食の安心・安全
を徹底追求

薄味で
おいしく

全体的に味を薄くするのでは
なく、表面に味付けすること
でおいしく食べられる
よう工夫

管理栄養士による
栄養管理

症状に合わせた
栄養管理

夏の献立

エネルギー 567 kcal | 塩分 2.2g | たんぱく質 27.7g | 主食量 150g

①長芋そうめん（夏ばて防止に有効な長芋をそうめん風に仕立てました）②太刀魚のアスパラ巻き（オクラのすり流し、とうもろこし、酢取り茗荷、すだち）③夏野菜と海老の冷やし鉢（暑い日にもさっぱりいただける冷たい煮物です）④鱧真丈と冬瓜のすまし汁⑤枝豆ごはん⑥ヨーグルトムース さくらんぼ添え（さっぱりとした泡雪のような口溶けのムースです）

高谷浩（前調理科長、元日本料理店料理長）の協力を得て、

調理科長 西江智章（元日本料理店料理長）、藤本純也（フランス料理経験者）、
小林諭（イタリア料理経験者）が心を込めて作ります



調理科長 西江 智章

夕食 1食あたり
プラス 550円（税込）

週7日間 ※1日から利用可能
※特室は無料

ご利用には
別途追加料金が必要です
お申し込み・ご質問は、
看護師へお申し付けください

夏場に気をつけたい 食生活 熱中症・脱水・環境

循環器内科 医長 西田 剛

【熱中症、脱水】

熱中症は高温多湿の環境から適応できないことで生じるさまざまな症状の総称です。体温が上昇することからだはその熱を逃がすために血管を拡張、汗をかき、脈拍を上げて心臓の働きを活発にさせます。体内の水分や塩分が奪われて、体温調節機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると血圧が下がり意識障害をきたします。特に高齢者は皮膚の温度感受性が鈍化し、発汗能力が低下しているため重症化しやすく、思春期前の子どもは発汗機能が未発達なため、体内に熱がたまりやすく、注意が必要です。

予防にはこまめな水分と塩分の補給が勧められますが、心臓病、特に心不全の方は注意が必要です。心臓の働きが低下していると水分と塩分に対する許容範囲が狭くなり、過剰に摂取すると心臓に負担がかかり、全身のむくみや呼吸困難などの症状がでてきます。

逆に水分や塩分を極端に制限すると、脱水になり血液の循環が悪くなることで血圧が低下、脈拍は上昇します。ひどいとショック状態になり、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こすこともあります。水分と塩分の補給は少量ずつ適度に行うことが大切になります。

発汗が多いときはスポーツ飲料を飲むのもよいですが、糖分や塩分が比較的多く含まれているため、飲み過ぎに注意が必要です。水分の喪失量がそれほどでなければ、塩分の補充は必要なく水やお茶で十分です。心不全の状態には個人差があり、内服状況によっても違ってきますので、具体的な補給法についてはあらかじめ主治医と相談されることをお勧めします。

【環境】

環境づくりも大切な予防のひとつです。利尿剤を常時服用している心不全の方が、高温多湿な環境に長時間さらされると容易に脱水が進行して、ショック状態になることもあります。屋外では日陰や風通しのよい涼しい場所を過

ごし、屋内では扇風機やエアコンを上手に使うことで室内温度が28℃を超えないように調節することで、快適に活動できる環境づくりに努めましょう。

【食生活】

夏は暑さにより体力や食欲が低下しがちです。また汗をかくことで、ミネラルやビタミンが失われていきます。食欲がないからといって、さっぱりした麺類や冷たい飲み物ばかりを摂っていると、栄養が偏り体調を崩しやすく、夏バテの原因となります。

夏バテ予防のためには、やはり1日3食をきちんと摂り、ミネラルやビタミンなどの栄養素を補うことが大切です。なかでも積極的に摂りたいのはタンパク質(肉、魚、豆類、牛乳)、ビタミンB(豚肉、レバー、豆類)、ビタミンC(野菜、果物)です。タンパク質は骨や筋肉などからだをつくるために欠かせない栄養素ですし、ビタミンBは疲労回復、ビタミンCは免疫力を高める働きがあります。これらを含む食品をバランスよく摂ることで夏バテを予防しましょう。

胸骨を切らない低侵襲冠動脈バイパス術

心臓血管外科 副院長 坂口 太一

通常の心臓手術は胸の真ん中にある胸骨を縦に大きく切開して行いますが、胸骨を切らないで小さな切開で行う心臓手術をMICS(ミックス)と呼びます。MICSは Minimally Invasive Cardiac Surgery (低侵襲心臓手術)の略で、さまざまな方法がありますが、当院では側胸部の肋骨の間を切開する方法をとっています。傷が小さくて目立たないだけでなく、胸骨を切らないため、出血が少なく、傷の感染のリスクもほとんどありません。また、従来の胸骨正中切開の手術後は、自動車、自転車の運転や上半身を使う肉体労働や、テニスやゴルフなどのスポーツは、約2か月の間控える必要がありますが、ミックス手術後はそのような運動制限はありません。そのため早期リハビリ、早期社会復帰が可能になります。

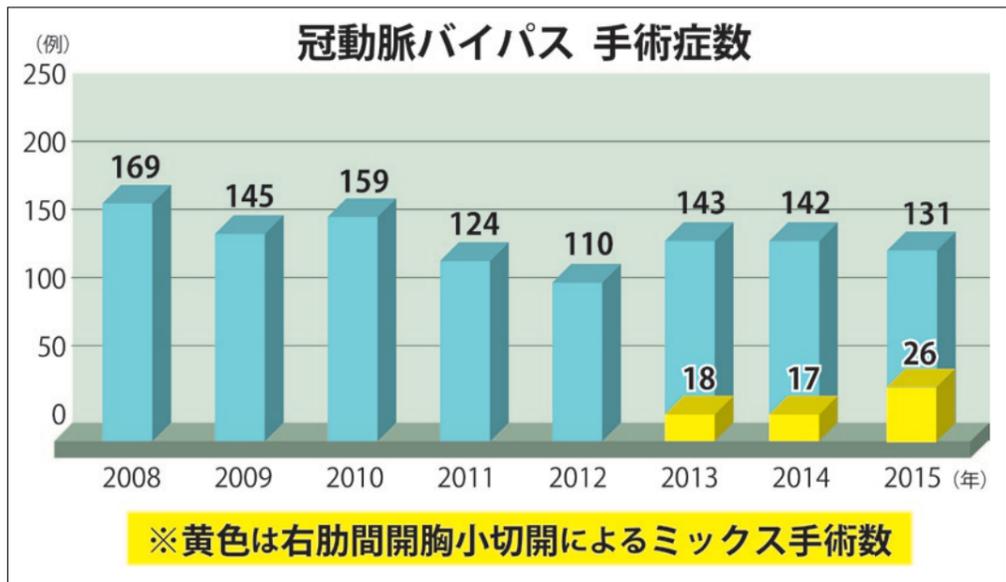


術後の傷あと

当院はミックス手術の実績では国内のリーダー的な存在となっており、弁膜症手術の多くをこの低侵襲アプローチでおこなっております。狭心症に対する冠動脈バイパス手術は小切開で行うのは技術的に難しく、これまでミックス手術はほとんど行われていませんでしたが、当院では3年前に国内で先駆けて導入し、これまでに80名以上の病客さまにミックスバイパス手術を行ってきました。弁膜症のミックス手術と同様、退院後すぐ仕事復帰されたり、テニスの試合に出たり、皆さんに満足していただいております。小さなキズから4本も5本もバイパスの血管を繋ぐのは少し無理がありますが、3

ローチでおこなっております。狭心症に対する冠動脈バイパス手術は小切開で行うのは技術的に難しく、これまでミックス手術はほとんど行われていませんでしたが、当院では3年前に国内で先駆けて導入し、これまでに80名以上の病客さまにミックスバイパス手術を行ってきました。弁膜症のミックス手術と同様、退院後すぐ仕事復帰されたり、テニスの試合に出たり、皆さんに満足していただいております。小さなキズから4本も5本もバイパスの血管を繋ぐのは少し無理がありますが、3

本までのバイパスならこの手術を考慮しています。また重要な血管をミックスバイパス手術でつなぎ、残った血管を内科でカテーテル治療してもらうという、ハイブリッド治療も行っています。内科カテーテル治療の低侵襲性と外科バイパス手術の確実性の良いところをとったような手術として位置づけられており、今後多くの病客さまにこの手術を行えればと思っております。術後生活が制限されたものでなく、病気になる前の元の生活をしていただきたいと強く希望いたします。



当院の学術活動

第116回日本外科学会定期学術集会 研究奨励賞受賞

当院に2010年4月～2013年3月勤務した心臓血管外科田中恒有医師の当院の資料を用いた研究に日本外科学会研究奨励賞が贈られました。

一般社団法人日本心エコー学会 第27回学術集会 YOUNG INVESTIGATOR'S AWARD 最優秀賞受賞

循環器内科鍵山暢之医長が、日本心エコー学会第27回学術集会 YOUNG INVESTIGATOR'S AWARD で最優秀賞を受賞しました。

日本糖尿病学会年次学術集会 糖尿病治療研究会幹事会 2015年度 "We are up for self-care." Award 取賞

吉沢祐子看護師長が糖尿病治療研究会・アポットジャパン株式会社より表彰されました。

当院の災害対策

この度の熊本地震。厚労省によると熊本市周辺の主要な医療機関のうち、倒壊の危険がある8施設を含め47医療機関で運営に支障を生じたとのこと（43施設で電気やガス供給に問題があった）。ひるがえって、当院の対応はどうなっているのか。

被害想定

南海トラフ地震が発生した場合、病院付近の震度は6弱と想定されている。また、津波が発生した場合、当院付近に津波は到達しないが、岡山市沿岸部には最大で2.6mの津波が到達することが想定されている。それにより電気と水道は24時間、下水道は7日間程度停止すると想定されている。人的被害について、冬の深夜に発生した場合、岡山市全域で死者368名、負傷者8690名（このうち重症者は500名）と予測されている。

一方、過去には台風による大雨で旭川の堤防が損壊したこともある。旭川の堤防が損壊した場合、

当院周辺地区は約1.5mの浸水があると想定されている。

当院の防災設備

【建物構造】
 ・耐震構造は建築基準法の1.25倍の耐震性を備え、震度6強の地震でも倒壊することはない。特に流行のピロティ形式の建物ではないため1階がつぶれることはない。
 ・地盤を1m高くしていること、地下室を設けていないこと、給食施設を3階に設けていることなど水害による万一の事態を想定し建設している。
 ・非常用発電機は浸水に対応するため、2階に設置してある。
 【上水道】
 ・飲み水としての使用はできないが、給水のため敷地内に井戸がある。また、室内のプールも転用できる。
 【電気】
 ・当院はオール電化で、ガスについては心配が全くない。電気は一般の商用電源と異なる特別高圧電源を中国電力から受けている。

・特別高圧電源は、変電所から直接配線の工業用高圧である。商用電源は地震による電柱の倒壊で停電する。しかし、特別高圧電源は岡山市中心部では地下ケーブルなので、停電しにくい。

・さらに、当院は2か所の変電所（島田と国体町）から送電されているため、仮に片方が停電しても他方から送電されるシステムになっている。

・万が一の停電に備えて重油で動く非常用発電機がある。これは発電容量750kVAが2基あり、1,500kVA使用でき、病院全体フル稼働させると48時間もつが、使用量を4分の1に制限すると自家発電で6日間稼働できる。

【救済ヘリ】
 ・ドクターヘリ（3.8t）より大きく、緊急物資を輸送する防災ヘリコプター（6.4t）も止まれる大きなヘリポートを備えている。

【下水道】
 ・最低72時間持ちこたえる非常用の汚水槽を設置している。浸水し

た場合、公共下水道は7日間程度機能停止すると想定されている。その間は下水のポンプ場から仮設ポンプにより汚水を緊急放流することになっている。

周辺環境

【道路】
 ・災害時には四国への物流拠点として車両基地が岡山市北区玉柏の警察学校グラウンドに設置される。これは岡山県警と自衛隊の共同の拠点が病院の北、数キロのところにある。国道30号線など大きな道路は被害がないといわれ、道路橋梁とも耐震化されている。

【液状化】
 ・当院は旭川沿いにあるが、地下ボーリング調査で砂礫層に建っているため、液状化はおこらない。

診療

・当院は災害拠点病院ではなく、循環器専門病院である。災害時は必要に応じてトリアージを実施し対応する。

院内教室のご案内

健康について一緒に考えてみましょう
ご家族の方もぜひご参加ください

【会場】診療棟 2階大ホール	7月	8月	9月
健康教室〔14時～〕 医師、管理栄養士、保健師、理学療法士が食事や日常生活、運動などについてお話しします			
脂質異常症と食生活	11・25(月)	8・22(月)	5(月)
心不全予防のポイント	12・26(火)	9・23(火)	6・20(火)
しなやかな血管を保つために～減塩が必要なわけ～	13・27(水)	10・24(水)	7・21(水)
知って得する医療費と介護保険の話	14・28(木)	25(木)	8(木)
簡単！心肺蘇生法とAEDの使い方	1・29(金)	26(金)	23(金)
狭心症・心筋梗塞の危険因子とは	4(月)	1・15・29(月)	12・26(月)
見直そう食生活 病院食のコツ	5・19(火)	2・16・30(火)	13・27(火)
心臓リハビリテーションとは	6・20(水)	3・17・31(水)	14・28(水)
減塩食のコツ	7・21(木)	4・18(木)	1・15・29(木)
意外と知らない高血圧のホント～正しい血圧の測り方～	15(金)	12(金)	9(金)
糖尿病教室〔15時～〕 糖尿病に関わる専門の医師・スタッフが、お話しします			
糖尿病と合併症	11・25(月)	8・22(月)	5(月)
お答えします あなたの疑問	5・12・19・26(火)	2・9・16・23・30(火)	6・13・20・27(火)
薬とインスリン	13・27(水)	10・24(水)	7・21(水)
検査について	14・28(木)	25(木)	8(木)
食事について	1・8・15・22・29(金)	5・12・19・26(金)	2・9・16・23・30(金)
運動について	4(月)	1・15・29(月)	12・26(月)
低血糖とシックデイ(体調が悪い時の対応)	6・20(水)	3・17・31(水)	14・28(水)
足のトラブルと手入れ	7・21(木)	4・18(木)	1・15・29(木)
ワーファリン教室〔14時～〕 薬剤師、保健師がワーファリン内服時の注意点などをお話しします			
	8・22(金)	5・19(金)	2・16・30(金)

※日程を変更することがありますので、院内掲示でご確認ください。参加は無料です。

ただし、医師の指示による管理栄養士の教室のみ栄養指導料(保険適応：80円～250円)が必要です。

糖尿病教室とは

近年糖尿病は増加傾向にあります。糖尿病は放置しておくこと心臓病をはじめさまざまな病気の原因となり、病各さまの生活の質を低下させます。当院では、糖尿病の方、そのご家族の方、糖尿病に関心のある方に糖尿病についての理解を深めていただきたいと、糖尿病教室を開催しています。



糖尿病の治療方法・血糖管理方法などについて医師・看護師・保健師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・日本糖尿病療養指導士などがそれぞれの専門の立場からお話ししています。基礎的なことから新しい治療まで、様々な内容になっています。

また、語り合いの場も設けていますので、普段質問しづらいこと、お悩みのこと、お困りのことなど、お気軽にお声かけください。

診療科紹介

循環器内科

循環器内科 副院長 山本 桂三

当院は1932年外科病院として始まり、1936年最初の心臓手術に成功、1966年循環器内科を開設。「循環器および関連領域の診断治療からリハビリさらには予防まで」をテーマに、地域に根ざした最新の循環器救急医療を24時間365日提供してまいりました。

や造影剤使用量の低減、検査時間の短縮といった病客さまにやさしい、安全な医療を合併症なく行い、病客さまに負担の少ない、安心していただける治療を全員で常に心がけています。2012年の病院新築移転後、カテーテル室が4室から6室に増え、救急体制もますます充実し、急性心筋梗塞など直ちに救命処置が必要な「一刻一秒を争う心臓発作の病客さま」へのカテーテル治療がこれまで以上に迅速にできるようになり、「断らない、お待たせしない」、救急医療体制を整備しています。カテーテル手術件数は年々増加して全国トップクラスを維持し続けています。また、ハイブリッド手術室を2室設置し、これまで困難であった弁膜症のカテーテル治療にも対応できるようになりました。2013

常診療の傍ら、論文執筆、学会発表といった学術的な貢献も多く行っており、他病院からの見学者も積極的に受け入れ、手技指導を行って地域のリーダーとしての啓蒙活動を行っています。

近年は「心不全パンデミック（大流行）」といわれるほど心不全症例が爆発的に増えてきていますが、循環器内科を中心に心臓血管外科、麻酔科、放射線科を始め、看護師、臨床工学技士、放射線技師、理学療法士、保健師など、循環器疾患を扱いなれた専門医療スタッフとともに、心臓専門病院の特徴を生かし、一致団結して集学的に診療にあたっています。救急対応や緊急カテーテル手術に始まり、療養指導、服薬調整、リハビリ指導、生活指導まで手厚く社会復帰を援助し、連携パスを利用して地域のかかりつけ医の先生たちと共同で疾病対策に取り組んでいます。

心血管病の専門病院として、今後も地域循環器医療に貢献するとともに、「あなたの心臓を守る」という断固たる決意で関係職員一丸となって取り組んでまいります。

第6回市民公開心臓病教室を開催しました

さる5月7日土曜14時から、イオンモール岡山5階おかもま未来ホールで、第6回市民公開心臓病教室を開催しました。約600人のご参加をいただき同じ時間を共有できましたこと嬉しく思います。ご参加の方々との質疑応答も活発に行われ、実りの多い教室だったとの感想もいただきました。ご参加ありがとうございました。

看護の日の催しを行いました

5月12日、診療棟2階大ホールで「ふれあい看護」の催しを行いました。この催しは看護職をより身近に感じていただくために、平成17年から5月12日看護の日を中心に、開催しています。

健康管理の為に血圧や体脂肪測定、骨密度測定、心肺蘇生法とAEDの使い方などを行いました。62名の参加がありました。診察の待ち時間や入院中の病客さま、付き添いの方から、年に一度の「ふれあい看護」の催しに参加され、「骨密度が測れてよかった」「楽しい時間だった」といったお声をいただきました。

外科医はメスを使って治療しますが、循環器内科医はメスに代わって「カテーテル」と呼ばれる医療器具（細くて柔らかい筒状のチューブ）を血管の中に入れて、体内から全身の臓器の治療をします。身体を大きく切ることなく、小さな傷で済みに、苦痛や体の負担なく治療するのが得意な診療科です。当院では全国から参集した27名もの循環器内科医（うち専門医13名）が、冠動脈、下肢動脈、頸動脈、腎動脈、その他の血管の病氣、不整脈に対してカテーテル治療を日夜行っています。ただ漫然と治療するのではなく、プロフェッショナルのカテーテル医として、放射線被曝量

加して全国トップクラスを維持し続けています。また、ハイブリッド手術室を2室設置し、これまで困難であった弁膜症のカテーテル治療にも対応できるようになりました。2013年からは心臓血管外科、放射線科、麻酔科とハートチームを結成して弁膜症の最新の治療である「経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）」も行っています。日

常診療の傍ら、論文執筆、学会発表といった学術的な貢献も多く行っており、他病院からの見学者も積極的に受け入れ、手技指導を行って地域のリーダーとしての啓蒙活動を行っています。

近年は「心不全パンデミック（大流行）」といわれるほど心不全症例が爆発的に増えてきていますが、循環器内科を中心に心臓血管外科、麻酔科、放射線科を始め、看護師、臨床工学技士、放射線技師、理学療法士、保健師など、循環器疾患を扱いなれた専門医療スタッフとともに、心臓専門病院の特徴を生かし、一致団結して集学的に診療にあたっています。救急対応や緊急カテーテル手術に始まり、療養指導、服薬調整、リハビリ指導、生活指導まで手厚く社会復帰を援助し、連携パスを利用して地域のかかりつけ医の先生たちと共同で疾病対策に取り組んでいます。

心血管病の専門病院として、今後も地域循環器医療に貢献するとともに、「あなたの心臓を守る」という断固たる決意で関係職員一丸となって取り組んでまいります。

本渡記念循環器クリニック



孫崎 栄津子 先生

孫崎 信久 先生

【孫崎先生より】本渡記念循環器クリニックは循環器疾患を専門とした内科診療所です。不整脈、狭心症、弁膜症などの心臓病や高血圧症、高脂血症、糖尿病、メタボリック症候群などの診療をおこなっています。とくに高血圧症の診療に力を入れています。循環器疾患でお困りの方は、お気軽にご相談ください。また、必要に応じて往診も行っておりますのでご希望の方はご相談ください。アットホームな雰囲気の中、循環器専門医として信頼できる医療を目指しています。心臓病センター榊原病院とは循環器専門の病院とクリニックという関係で専門的な相談を行っています。今後ともよろしくお願いたします。



〔住所〕〒708-0001 津山市小原 79-5
〔電話〕0868-22-8715
〔FAX〕0868-22-8868
〔診療科〕循環器内科



〔診療表〕

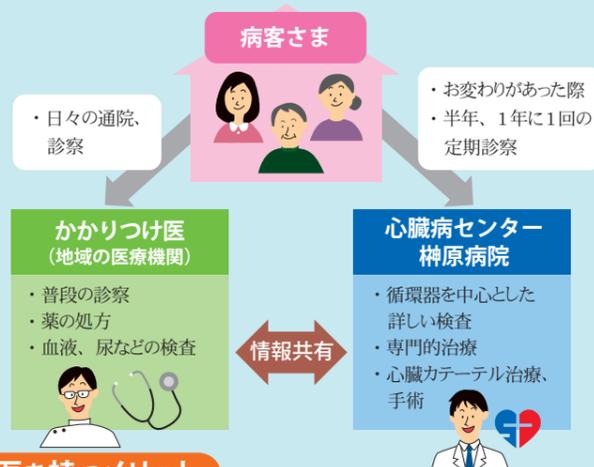
診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:30	●	●	●	●	●	●	—
14:00~18:00	●	●	※	—	●	—	—

※第二・第四水曜日午後は休診

【心臓病センター榊原病院より】本渡記念クリニックの開業の祖 本渡嘉先生は、心臓血管外科医として当院に勤務していただき、当院の発展に非常に貢献してくださいました。津山に開業され、年月が経ち、代替わりした現在も、循環器専門の医療機関として連携いただいております。

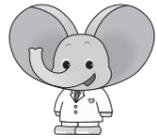
かかりつけ医をおもちですか

かかりつけ医をもっといただければよい点は、ご退院後も引き続きよくご存じの近くの先生にずっとかかることで体調の変化にいち早く気づき、病気を早期に見つけやすくなることです。また、待ち時間も短く、通院しやすいことです。つまりかかりつけ医の先生と心臓病センター榊原病院の2人主治医制というわけです。



かかりつけ医を持つメリット

- 1 病歴を把握してもらえる**
切れ目のない継続的なお付き合いによって、体質や生活習慣などを把握。普段の健康管理の助言も受けられる。
- 2 専門の医療機関を紹介してもらいやすい**
より詳しい高度な検査、治療が必要ときはすぐ紹介状を書いてもらえる。大病院での初診時負担金が不要になる。
- 3 家族全員の健康管理も任せられる**
共働きである、高齢者がおられるなど、家族環境や家族構成などよくご存じのかかりつけ医の先生ならではの診療が受けられる。
- 4 待ち時間が短く、通院の負担が軽い**
大病院は施設が整い、専門医も多く安心感があるが、自宅や職場からすぐに通いにくい。



ご意見 聞かせてください

ご意見箱 設置場所

- ・受付前 診療棟 2階
- ・デイルーム 診療棟 6階、7階

沢山のご意見ありがとうございました。貴重なご意見にいただいたがい、病室のまじりにごつたよりよい病院を目指して努力してまいります。スペースの関係でいただいた趣旨を変えない範囲で簡略化するのごお許しください。今後とも貴重なご意見いただきますようお願いいたします。

ご意見

1階レストランの単価が高い。安価にしてほしい。

【お返事】ご意見ありがとうございました。レストラン（hana）は業務委託しています。ご要望の件は伝えます。

ご意見

食事がとても美味しかった。看護師の方の言葉の掛けよう、私の方がありと

うと言いたいの、物腰の優しさが訓練されていると思いました。美しい病院で気持ちがよく、清潔感もあり大変感心しました。ありがとうございました。

ご意見

ボタンを押すと、どの看護師さんも必ず何かご用ですかと質問される。「はい」と「すぐ参ります」の返事で良いと思

ます。早く来てもらう方が病室はありがたいです。また、呼ぶ理由を言えない事があります。特に点滴をしている時などには、「はい、行きます」と迅速に来ていただければ、病人はありがたいです。

ご意見

【お返事】呼び出しをお受けした時、物品の準備が必要な場合があるため確認をさせていただきます。

ご意見

1階のレストランで「糖尿病食」の提供はできないのでしょうか。

【お返事】レストラン（hana）は外部委託としており、運営会社に投書の旨を伝えます。なおレストランの食事メニューにカロリー表示があります。参考にしていただけますようお願いいたします。

ご意見

糖尿病の合併症に歯周病があります。

歯科も併設してもらいたいです。

【お返事】 歯科の設置は難しいのが現状です。検討致しますが当面歯科医へ受診をお願いします。

ご意見

3週間の入院、本当に気持ちよく過ごさせていただき感謝しております。健康教室が毎日開かれていた様子。案内が部屋の中まで聞こえませんでした。予定表をいただければ、参加できた講座もあつたのではと残念に思っています。

ご意見

【お返事】 申し訳ありません。健康教室は院内放送のご案内しています。6階7階の廊下に掲示板「お知らせ」コーナーを設けています。また、病院NOW（院内誌）にも予定表を掲載しています。看護師に申し付けいただければお届けします。

ご意見

食事終了後、御膳を下げた目印のような物を室のドアの所に付ける事は出来ないのでしょうか。わざわざお声をかけていただく必要がなくなると思います。

ご意見

【お返事】 病室さまのお食事は保健所の指導により、調理後2時間内で喫食していただく決まりとなっています。それ以降のお食事は、衛生上の問題があるからです。その兼ね合いから下膳の際にお声を掛けさせていただきます。

ご意見

ました。病院にいながら心が明るくなり、スタッフの皆さまのおかげと心より感謝申し上げます。

ご意見

【お返事】 お褒めのお言葉をいただきありがとうございます。病室さまの安心と安全に一層努力してまいります。

ご意見

今、私は6階の窓から中庭が見える個室にいます。建物の中心部分のスペースを多少見応えのある景色にしてみれば、心が和むのではないかと思います。多少温かみのある季節感を出す事を考えられたらよいと思います。

ご意見

【お返事】 ご指摘ありがとうございました。この中庭は、建築法により明かりを入れる空間施設になっています。ご期待に添えるようにしてまいります。

ご意見

①予約しても、毎回予約時間より3時間ぐらい遅い診療、予約の意味があるのか、怒っている。システムを考えて欲しい。

ご意見

②診療時間が予約した時間より2〜4時間遅れるのはいかがなものでしょうか？

ご意見

【お返事】 申し訳ありません。予約時間が大幅に超過することがないよう、予約枠の改善を検討してまいります。

ご意見

ICUでの療養中、職員同士の私語、むだ話しが余りにも多かったので気にな

ご意見

15時から給茶器を止まないでください。8時〜17時は避けてください。

ご意見

【お返事】 申し訳ありません。病室さまの食事の配膳の準備、また職員の勤務時間等の関係で、14時40分〜15時50分の間に給茶器の洗浄と乾燥を行つてい

ご意見

ます。その間にお茶が必要でしたら看護師にお申し付けください。

ご意見

デイルームか廊下に時計を設置していただけると助かると思います。

ご意見

【お返事】 検討いたします。現在院内でも（診療室、手術室、カテ室等）には時計を設置しています。

ご意見

入院中の楽しみは食事だったので、特別食を希望しましたが朝食にはがっかりしました。カロリー計算上ごつたのかもしれません。医療は日本一と聞いているのに、食事については残念に思いました。

ご意見

【お返事】 ご指摘をいただきありがとうございます。朝食の食事内容の検討いた

ご意見

します。ご入院中の病室さまのお食事は、病気によつてカロリー計算（塩分、蛋白質、脂質）して提供しております。

ご意見

退院の許可ができました。内科、外科の先生、看護師の皆様本当によくしてい

ご意見

落ちて着きませんでした。術後患者の配慮にとてもてください。ナースコールを手元に置いてもらうことをしばしば忘れていたようなので、その対策をお願いします。

ご意見

【お返事】 申し訳ありません。早速、注意と意識改革の教育を徹底します。

ご意見

退院時、歩行が不自由で車イス使用退院の荷物もあるのに遠い駐車場利用は大変不親切。要介助のパーキングに停めようとしたら、ここは一時利用と言われた。お見舞いに行くにも高齢者や不自由な方々には遠い。

ご意見

【お返事】 ご不便をおかけし申し訳ありません。要介助乗降口はお身体の不自由な方に、一時的にご利用していただいております。入退院時にお荷物がある場合ご利用下さい。要介助乗降口は皆さまが一時的にご利用される場所です。長時間の駐車はご遠慮ください。

ご意見

家族の者が洗濯物を取りに来るのに駐車料金が高すぎる。改善策を考えてください。

ご意見

【お返事】 面会時間に合わせ、11時30分〜18時00分は駐車料金を100円自動減額させていただきます。なお、利用料金は周辺の駐車場に合わせていま

ご意見

す。

ご意見

ただい。

ご意見

【お返事】 ご指摘ありがとうございました。特別食には「本日の献立」メニュー表をお膳に付けてお出ししています。

ご意見

①入院患者の駐車料金の件。毎日洗濯物を持ち帰り、持ち込みで市内のため車を利用している。27分100円とのこと。入院のご案内にその旨の記載がない。

ご意見

②市中に比べて高すぎる。

ご意見

③「病室」という呼び名は名ばかり、一考する必要あり。

ご意見

【お返事】①ご指摘ありがとうございます。記載に付きましては検討致します。

ご覧になりましたか



入退院支援センターの開設

当院は急性期病院として24時間救急病客を受け入れ、病客さまの入院時から退院を見据えた支援をさせていただくことで、より早く在宅療養や転院をしていただき、多くの重症病客さまの受け入れられる役割を担っております。入院は病客さま、ご家族にとつて、検査や治療そのものに加えて、生活や経済の問題に至るまで多くの不安の要因となります。そのような病客さま、ご家族さまを私たちは専門家としてより添い支えたいと考えています。このようなことから病客さま一人ひとりの状況を早期より把握し、外来・入院・退院後も含めた関連多職種の連携による支援を提供することによって、病客さまへのサービスの向上と急性期医療の充実を図る目的で、4月より入退院支援センターを開設しました。

入退院支援センターでは、これまでの地域医療連携室と医療福祉相談室が合併し、地域医療連携担当事務員と社会福祉士に加え、

医師2名と入院・退院調整担当保健師・看護師を3名配置し、各方面の調整役として活動します。

現在、4月の診療報酬改定に伴い病棟再編を行い、循環器疾患により特化した病棟編成とし、効率的な病床運用を行うための病床管理システム構築を行っております。また、全ての入院病客さまを対象に入院後一週間以内に、関連職と治療方針、ご入院前の生活状況などの情報共有を行い、早期にご退院を見据えた支援が行えるように活動してまいります。その他ご退院後に医療行為（在宅酸素・ストーマ処置など）が必要な病客さまの指導には、担当保健師を決め、継続的に支援をしてまいります。今後は、外来でご入院が決まった時点から関連職が介入させていただき、各方面の調整を行い、安心して入院治療を受けていただけますよう努力してまいります。(院内電話：1380)

▽病院の実力

読売新聞医療部
(15年11月2日発行)

日本糖尿病学会が認定する教育施設403施設の報告である。教育施設は内科の専門医をはじめ、生活指導に携わる看護師や管理栄養士らがそろい、目や腎臓などの合併症の治療体制も整っている病院をいう。岡山県では当院のほか6病院が選ばれているが、学会認定の専門医、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士が揃っているのは当院だけだった。

▽病院最前線2016

毎日新聞出版ムック
(15年11月16日発行)

厚生労働省発表のDPC(診断群分類包括評価)データに基づいて、疾患ごとに上位の病院をまとめたランキングである。日本人の死因の第2位を占める心臓・血管病について、Q&Aで解説し、各疾患についてのランキングが紹介されている。急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞の手術で当院は全国第

7位、狭心症・慢性心疾患の手術で第5位、心臓弁膜症の手術で第8位、心不全の手術で第5位、解離性大動脈瘤の手術で第9位、非破裂性大動脈瘤などの手術で第4位、そして、静脈リンパ管疾患の手術では第50位であった。

▽週刊ダイヤモンド

(16年3月19日発行)

「病院改革ランキング」という特集を組み、全国100病院の改革実績ランキングなるものを紹介している。評価項目は、集客力、機能である。総合病院では評価が実力以上になり、当院のような非総合病院では実力が正当に評価されていない。その中であつて当院は集客力の効率性は62^位で岡山県第1位であるという。

▽プレジデント

(16年4月25日発行)

頼れる29^位病院実力病院ランキングで当院は冠動脈バイパス術149例、弁膜症手術198例、大動脈疾患手術120例、冠動脈カテーテル治

見学随時受付中



50歳からの フィットネスクラブ

一人ひとりの体力にあった無理のない運動

他のフィットネスクラブとココが違う! /

3つのポイント

- ポイント 1 循環器内科専門医によるメディカルチェック
- ポイント 2 管理栄養士による栄養指導
- ポイント 3 スタッフとの距離が近い

利用時間 月～土 9:00～18:00
※12:00～13:00は休憩 ※日・祝日は休み

料金：教室コース、フリーコース
どちらも10,800円(税込) / 月(入会金不要)

▽山陽新聞

(16年5月8日発行)

5月7日、当院が毎年行っている市民公開心臓病教室が開催されたと報じている。約600人が予防法や最新の治療法などに理解を深めた。3名の医師が講演を行った。伴場主一循環器内科部長は脳梗塞の原因にもなる不整脈の一種「心房細動」について、高齢社会の進行とともに病客さまが今後増える見通しであると説明し、過度の飲酒を控えるなど日ごろから健康的な生活を送ることが大事と述べた。

近沢元太院長補佐はカテーテルを用いた最新の治療法を動画を用いて解説した。胸部を切開する手術のように心臓を止める必要がなく、病客さまの身体的負担が少ないとメリットを挙げた。

津島義正救急部長は心肺蘇生の重要性を指摘した。心臓が止まると、3～4分で脳障害が起きてしまうため、周囲の人が速やかに行うことが大事と呼びかけた。

▽山陽新聞

(16年4月28日発行)

熊本地震の被災者支援に役立っていたことが、当院が山陽新聞社会事業団に義援金を贈ったことが報じられた。当院からは103万円寄託した。榎原敬理事長が「被災された方々のため役立てて」と述べた。